

# ブダガヤ分院参拝報告とお礼

片山 妙晏

八月十九日にブネーを出発し、ブダガヤに到着。二十日には、妙江先生ご一行様にお会いすることができました。ブダガヤは、非常に蒸し暑く、水や電力供給がストップという厳しい環境でしたが、妙江先生のご到着により、激しい雨が降り始め、温度が下がり、雨量が少しでも増えたのではないのでしょうか。日本はこれより暑いでしょうか。皆様、お体にお気を付け下さいませ。

さて、妙江先生ご一行様到着後、分院にて皆で御経納受させて頂きました。先生を先頭に、お上人や信者さんが同行されておりましたので、非常に力強い、気持ちよいお経でした。神様は勿論のこと、アムダピースクリニツクのクサラ先生や、デリーから派遣されて来られた女医のヴェエダ先生も妙江先生ご一行のご到着を心待ちにされていました。女医さんは、ヒンドゥー教の方で、ヴェエダの儀式に従って、マントラを唱えながら、花飾りを準備して出迎えられました。次の日は、霊鷲山参拝組と休憩組に分かれて自由行動です。二二日午前中も、大仏塔参拝組と休憩組に分かれ、昼前には、サンジャイさんの赤ちゃん、スイーティちゃんを見にお宅にお邪魔しました。眼が真ん丸で大きく愛らしいサンジャイさんに似た赤ちゃんでした。昼食後、先生一行はブダガヤを出発され、デリーに夜到着。次の日からブータンに出発され

れました。私は、ブダガヤにてお別れをし、次の日の早朝出発し、夜にはブネーに到着です。あつという間の数日間でしたが、皆様にお会いできたこと、素敵な会話に出会えたことに感謝しました。

「どんなに辛いことがあっても、ブダガヤはお釈迦様の聖地であるから頑張れる」

これは、スリランカ出身で私達と同じ仏教徒であるクサラ先生の言葉です。実に、ブダガヤはインドの中でも最も貧しい地域であるのみならず、モンスーンの時期も雨が降りませんから、水不足。また、停電の毎日。夏の一番暑い五十度の中、扇風機も停止し、蒸し風呂状態の中で生活されていたということです。妙江先生も、どんなことがあっても、いつもお釈迦様が原点であつて、その視点でものを考え、行動されているとおっしゃいました。

また、

「妙論上人は、インドから帰った後、調子は如何ですか」

「比較的、元気です」

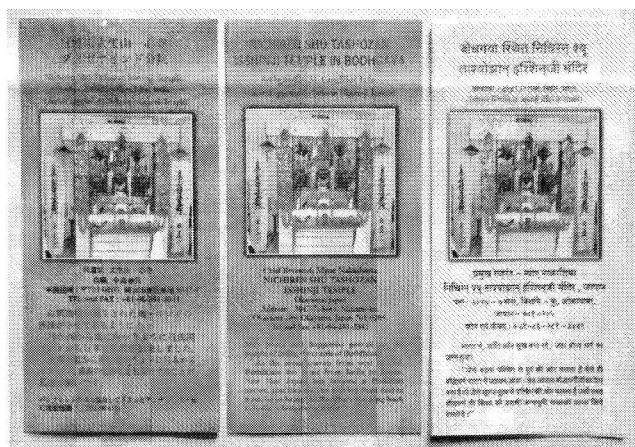
「神様からパワーを頂けるからでしょうね」

これは、田中領子さんと妙論上人の会話です。皆様、お盆等の行事が重なり忙しい中、インドやブータンの旅ということで大変お疲れであることがよく分かりました。しかし、このような

会話が気持ちよくかわせる「信仰」の素晴らしさを感じております。

妙江先生は、全身鍼だらけで、疲れた足を引きずりながら動き回ってらっしゃいました。このように妙江先生や泰俊上人におかれましては、日本での寺院建立と、ブダガヤ分院の建立が重なり、お忙しい中、何度もインドへ足を運ばれ、大変であったことがよく分かります。しかし、そのお蔭で、留学中に、分院へ参拝するご縁を結んで頂いたこと、また、二年間の間、インドで妙江先生に三度もお会いできたこと、信者様から励ましのお言葉、お手紙を頂いたこと、すべてに、心より感謝しております。ありがとうございます。

合掌



## ブダガヤインド分院設置のパンフレット

片山妙晏上人が作成に取り組みされたアムダピースクリニツクの紹介を含んだブダガヤ分院設置用の日本語、英語、ヒンディー語パンフレット。3、4頁にその日本語パンフレットを掲載しています。



## <AMDAピースクリニック>

AMDAは、1984年に創設され、世界30か国に支部がある国連NGOとして、“相互扶助にもとづいた世界平和”について国連への政策提言とその実現を目指しています。「困った時はお互い様」の相互扶助は、「存在に敬意を払う」人権と同じく世界平和実現に重要なコンセプトです。

「救える命があればどこまでも」のスローガンのもと、世界の難民や災害被災者救援医療活動に、AMDA多国籍医師団を派遣してきました。現在までに、60か国110件におよんでいます。

AMDAピースクリニックは、仏教の聖地であるブダガヤに、日蓮宗太生山一心寺別院に併設して開設されました。一心寺別院では、紛争や災害で亡くなられた方々の魂への祈りと世界平和への祈念をします。クリニックでは、インドの伝統医学であるアユルベーダ治療を実施するとともに、ガヤ医科大学と連携してビハール州の人たちのために救急医療や災害医療活動を実施する予定です。

ちなみに、AMDAの人道援助の三大原則を紹介します。

- 1) 誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある。
- 2) この気持ちの前に、宗教、民族や国家の壁は無い。
- 3) 援助を受ける側にも、プライドがある。

---

アムダ代表 菅波 茂

本部住所：〒700-0013 岡山市北区伊福町3-31-1  
TEL : +81-86-252-7700, Fax : +81-86-252-7717  
Website : [www.amda.or.jp](http://www.amda.or.jp)